

2012年度（34期） 事業報告書

自：2012年4月 1日

至：2013年3月31日



公益財団法人 関西盲導犬協会

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

2012年度事業報告書

(2012年4月1日－2013年3月31日)

公益財団法人 関西盲導犬協会

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬の貸与

①盲導犬貸与ならびに共同訓練

a. 盲導犬貸与数 (実働盲導犬数)

2013年3月末現在、実働盲導犬数93頭 (ユーザー数97人) であった。

b. 共同訓練

2012年度はタンデム (夫婦で1頭の盲導犬を使用する方法) 1組を含む、12人の視覚障がい者に共同訓練を実施し11頭の盲導犬貸与を行った。詳細は次のとおりであった。

使用者証 NO.	性別	都道府県	犬名	犬種	性別	貸与日	新規/代替
7339	女	滋賀県	トラム	ラブ×ゴールデン	オス	2012/04/14	代替
7340	男	兵庫県	トーチ	ラブ×ゴールデン	オス	2012/05/12	代替
7341※	男	滋賀県	ウィット	ラブラドル	オス	2012/08/16	新規
7342	男	奈良県	ヨアン	ラブラドル	メス	2012/08/25	新規
7343	女	岡山県	タミー	ラブラドル	メス	2012/09/29	代替
7344	男	兵庫県	グリーン	ラブラドル	オス	2012/10/27	代替
7345	女	兵庫県	クッキー	ラブラドル	メス	2012/11/16	代替
7346	女	広島県	アイリス	ラブラドル	メス	2012/11/30	代替
7347	女	広島県	ブライト	ラブラドル	オス	2013/01/26	代替
7348	男	京都府	オクター	ラブラドル	オス	2013/03/20	代替
7349	男	大阪府	アイシー	ラブラドル	オス	2013/03/29	新規
7350	女	京都府	エルマー	ラブラドル	オス	2013/03/29	新規

※印がタンデム。なおNo. 7341は、すでに妻がユーザーであり、その盲導犬で夫が共同訓練を受け、タンデムとして貸与した。

②公正な盲導犬貸与の実施

盲導犬貸与規程ならびに盲導犬貸与委員会規程に基づく公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、盲導犬貸与委員会を開催し、盲導犬貸与申込者の選定ならびに共同訓練に関する各事項の手続きの確認を行った。

第20回盲導犬貸与委員会 (4月14日)

第21回盲導犬貸与委員会 (5月26日)

第22回盲導犬貸与委員会 (6月16日)

第23回盲導犬貸与委員会 (7月7日)

第24回盲導犬貸与委員会 (8月4日)

第25回盲導犬貸与委員会 (9月1日)

第26回盲導犬貸与委員会 (10月6日)

第27回盲導犬貸与委員会（11月10日）

第28回盲導犬貸与委員会（12月8日）

第29回盲導犬貸与委員会（2月2日）

第30回盲導犬貸与委員会（3月2日）

③盲導犬貸与希望者への対応

申込済みの盲導犬貸与希望者と定期的にコンタクトを取り、現状把握と情報提供に努めた。また視覚障がい者個人ならびに団体等に対して体験歩行会を催し、盲導犬の新規貸与希望者の募集を例年どおり実施した。

④盲導犬ユーザーへのフォローアップ

a. 盲導犬ユーザーに対するフォローアップ

フォローアップ専任職員を配置し、盲導犬ユーザーが安全で快適な盲導犬歩行ならびに生活が継続できるようフォローアップの充実を図った。2012年度のフォローアップ実施件数は166件（前年度227件）であり、定期フォローアップは昨年度に比べ28件増えた。なお、訪問による共同訓練が多かったことで共同訓練後のフォローアップが必要ななかったこと、また犬の預かり時のフォローアップの減少により、全体的には昨年度よりフォローアップ回数は減少した。内訳は次のとおりであった。

- ・定期フォローアップ 91件（前年度比較 +28）
- ・ファミリーアリゼーション 9件（前年度比較 -1）
- ・共同訓練後のフォローアップ 9件（前年度比較 -31）
- ・犬の健康管理のためのフォローアップ 11件（前年度比較 -8）
- ・犬の問題行動のためのフォローアップ 30件（前年度比較 +5）
- ・その他のフォローアップ 16件（前年度比較 -54）

b. 盲導犬ユーザーへの情報提供

盲導犬の健康管理ならびに盲導犬ユーザーの負担軽減を目的に、ドッグフード・犬具・犬用薬品等について、例年どおり情報の提供を実施した。

(2) 盲導犬の育成

①繁殖（盲導犬候補犬の確保）

a. 2012年3月末の繁殖状況は次のとおりであった。

- ・パピーウォーカーに委託したパピー頭数61頭
- ・当協会で作られたパピー頭数87頭（うち52頭をパピーウォーカーに委託）
- ・他協会から譲り受けたパピー頭数9頭（東日本盲導犬協会2頭／中部盲導犬協会5頭／台湾導盲犬協会から2頭）
- ・2012年3月末の繁殖犬総数29頭（内訳 オス13頭／メス16頭）
うち新規繁殖犬登録数2頭（内訳 メス2頭）

b. AGBN(アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク)の実務担当者会議（4回開催）に繁殖担当の職員を派遣した。

②パピーの育成

a. 2012年3月末のパピーウォーキングの状況は次のとおりであった。

- ・パピーウォーカーに委託したパピー頭数61頭

b. 巡回指導およびパピースクール等の状況は次のとおりであった。

- ・定期巡回指導 のべ295件
- ・パピースクール（24回、のべ273家族参加）

③盲導犬候補犬の訓練

パピー引き上げ時期の集約、訓練評価の定期化等、例年どおりの取り組みを実施した。

(3) 盲導犬の保健衛生管理

①盲導犬のケア

貸与後、特定の病気を発症した盲導犬に対して療法食の補助を始めた。

②繁殖犬・パピーのケア

初心者のボランティアを対象にしたベーシックセミナー（11月11日）、ならびに経験者を対象としたスキルアップセミナー（12月1日、9日）を開催し、それぞれの犬の健康衛生管理ならびに訓練に関する知識を深められるよう講習会を実施した。

③訓練犬のケア

クイールの会（ボランティアの会）ならびに個人ボランティアの協力のもと、訓練犬のシャンプーならびに犬室の整備を実施し、犬舎環境の改善を図った。

④リタイア犬のケア

リタイア犬（盲導犬ならびに繁殖犬を引退した犬）の飼育ボランティアと連携を取りながら、リタイア犬の健康管理や介護などの問題に対応し、リタイア犬が快適な余生を過ごせるよう努めた。

a. 2012年3月末のリタイア犬の総数は次のとおりであった。

・リタイア犬総数60頭

b. リタイア犬事業資金（リタイア犬に係る指定寄付）の用途について

2012年度3月末までに、リタイア犬のケアとして特定寄附金積立資産（リタイア犬事業資金）から取り崩した額は下記のとおりであった。（合計1,518,688円）

・リタイア犬のフード代 827,445円

・ワクチン等の医療費 691,243円

(4) 盲導犬訓練士および歩行指導員の養成

①盲導犬訓練士および歩行指導員の養成

訓練担当パートタイマー職員1名を盲導犬訓練士として、認定NPO法人全国盲導犬施設連合会に申請し、盲導犬訓練士の認定を受けた。（認定日は2013年4月1日）

②研修

フランスで開催された国際盲導犬連盟のセミナー（2012年5月11日～13日）に職員2名を派遣した。

(5) その他

①ボランティアの募集

繁殖犬・パピー・リタイア犬の飼育ボランティアならびに盲導犬としない犬（キャリアチェンジ犬）のオーナーを継続的に募集した。

②盲導犬の育成に関する調査研究

北海道盲導犬協会ならびに中部盲導犬協会が行っている盲導犬の左右持ち替え歩行について、当協会での導入の可能性を検証するため、中部盲導犬協会の歩行指導員を講師に招き、訓練士ならびに指導員を対象とした研究会を毎月実施した。その結果として、2013年度に左右持ち替え歩行を希望する代替者との共同訓練を実施する予定である。

③京都ハーネスの会（京都在住の盲導犬ユーザーの会）とともに、京都府ならびに京都市に対して京都在住の盲導犬ユーザーに対する補助金の働きかけを行った。

1-2. 相談事業

(1) 盲導犬・視覚障がい者に関する問題に対する措置

2013年3月末までに受けた苦情は12件、相談は14件であった。盲導犬の扱いに関する苦情に対して、当協会ユーザーが該当者であった5件については確認を行い、必要に応じて指導を行った。当協会パピーウォーカー2件については、担当者が指導を行い、改善を図った。

盲導犬ユーザーからの相談のほとんどが、施設・交通機関の利用に関する相談で、うち1件はまだ解決できず対応を継続中である。また、今年度はソーシャルメディアに関する苦情・相談が3件寄せられたが、ソーシャルメディアの利用が今後も増える状況を考え、協会としての方針を明示することが求められている。

①苦情内容ならびに件数

- a. 盲導犬ユーザーに対する苦情（10件）
 - ・盲導犬の虐待について（4件、うち3件は他協会ユーザー）
 - ・盲導犬の世話の仕方について（3件）
 - ・バスの中での盲導犬の管理について（1件）
 - ・インターネットの利用について（2件）
- b. パピーウォーカーに対する苦情（2件）
 - ・パピーの世話について（1件）
 - ・他ボランティアとの交流のあり方について（1件）

②相談内容ならびに件数

- a. 盲導犬ユーザーおよびその家族からの相談（12件）
 - ・飲食店での受け入れについて（3件）
 - ・病院での受け入れについて（2件）
 - ・美術館・民宿等での受け入れについて（4件）
 - ・交通機関等での受け入れについて（1件）
 - ・インターネットの利用について（1件）
 - ・その他（1件）
- b. 事業者からの相談（2件）
 - ・施設での受け入れ、盲導犬の識別方法について（2件）

(2) 盲導犬に関する調査および研究

①病院での盲導犬ユーザー受け入れに関する啓発活動

京都ハーネスの会と協力し、京都府下173件の病院に対して盲導犬ユーザーの受け入れに関する実態調査を行った。この調査により、規模の大きい病院が受け入れにより積極的であることがわかった。また、人工透析設備をもった病院での盲導犬ユーザーの受け入れに関しても調査を行い、これらの結果をもとに京都府・京都市・京都府医師会との話し合いの場をもった。

1-3. 啓発普及事業

(1) 盲導犬の必要性についての啓発活動

①視覚障がい者に対する啓発普及活動

- a. 以下の団体からの要請を受けて、盲導犬の体験歩行を行った。

2012年	5月21日	京都ライトハウス
2012年	7月4日	京都ライトハウスサテライト事業
2012年	7月11日	奈良県立盲学校
2012年	8月11、12日	ライトオンデザインプロジェクト
2012年	9月20、30日	JRPS岡山県支部「アイフェスタ in おかやま」
2012年	11月5日	京都ライトハウス
2012年	12月14日	兵庫県視覚障害者福祉協会
2013年	1月12日	あい・らぶ・ふえあ実行委員会
- b. 機関誌「ハーネス通信」の点字・テープ・電子データ版を4回発行した。
(2012年4月1日、7月1日、10月1日、2013年1月1日発行)

②関係機関ならびに関係団体と連携した啓発普及活動

a. 京都府身体障害者更生相談所が開催する視覚相談会に職員を派遣し、盲導犬に関する情報提供を行った。

2012年 5月22日 宮津市

2012年 7月24日 亀岡市

2012年 9月25日 舞鶴市

2012年11月20日 精華町

2013年 1月22日 宇治市

2013年 3月21日 長岡京市

b. 全国盲導犬施設連合会の委託を受け、「盲導犬情報」を編集・発行した。

(2012年11月30日、2013年3月29日発行)

c. 全国盲導犬施設連合会が主催する盲導犬歩行指導員等資格認定学科講座の開催に協力した。(2012年12月10日~13日)

③一般市民に対する啓発活動

盲導犬ならびに視覚障がいについての正しい理解普及のため、啓発活動に取り組んだ。

a. 訓練センターの見学

盲導犬ユーザー、クイールの会と連携して毎月第3日曜日(オープンデー開催のため4月を除く)を定例見学会とし、計494名の参加者があった。また、定例見学会とは別に39団体が訓練センターを見学した。

b. 講演活動

学校・企業・社会奉仕団体等からの依頼を受け、講演・実演等に職員・盲導犬ユーザーを派遣した。

・学校での講演は117件(うち、24件は盲導犬ユーザーが講演)

・社会奉仕団体の例会・イベント会場での講演・実演は32件

c. インターネットの活用

ホームページに見学会の案内やイベント・街頭募金活動日程を毎月掲載した他、ブログ・フェイスブックを活用して協会の活動状況を積極的に発信した。

④関連書籍や関連商品の情報提供

ボランティアの協力を得て、盲導犬や視覚障がいにちなんだ書籍や関連商品の情報提供を行い、一般市民の盲導犬事業への関心を高めるよう努めた。

⑤京都府での盲導犬使用環境改善に向けた働きかけ

京都ハーネスの会と協力し、京都府・京都府医師会・京都市獣医師会と話し合いの場を設け、現状の説明・助成施策に関する要望等を行った。

(2) 身体障害者補助犬法についての啓発活動

①ホームページや機関誌による情報提供

ホームページや機関誌「ハーネス通信」等を通じて、身体障害者補助犬法に関する情報や、受け入れの基本でもある盲導犬ユーザーへの理解が深まるようなテーマを取り上げ、情報提供に努めた。

②啓発に関する調査研究

近畿圏の病院を対象とした盲導犬およびユーザーの受け入れ状況の調査とともに、身体障害者補助犬法についての周知状況の把握を行った。

③身体障害者補助犬法に関する取り組みへの協力

身体障害者補助犬を推進する議員の会が主催した補助犬法に関するヒアリング、厚生労働省が開催した身体障害者補助犬受入マニュアル作成作業委員会に職員を派遣した。

2012年 4月23日 身体障害者補助犬法に関するヒアリング

- 2012年 5月22日 身体障害者補助犬法成立10周年シンポジウム
- 2012年11月19日 身体障害者補助犬受け入れマニュアル作成作業委員会
- 2013年 2月 4日 身体障害者補助犬受け入れマニュアル作成作業委員会

2. 管理部門

(1) 会員

2012年3月末の会員数は1,103件であり、内訳は次のとおりであった。
なお今期から年度内に会費納入のあった会員数を報告することとした。

- ・正会員 1,032件
- ・青少年会員 22件
- ・法人会員 24件
- ・後援会員 20件
- ・マンスリー会員 5件

(2) 募金箱

2013年3月末の募金箱回収状況は次のとおりであった。

- ・2013年3月末の設置店舗数1,884件
- ・回収金額 10,169,487円

(3) 街頭募金

2012年3月末のクイールの会と協会職員による街頭募金額は12,368,647円
(実施回数110回)であった。

(4) 募金自動販売機の設置

2013年3月末の設置台数は53台(新規6台、撤去なし)であり、寄付額総計
756,853円であった。

協力企業(関西キリンビバレッジサービスグループ・ジャパンビバレッジウエスト・
コココーラウエスト・他3社)

3. 施設整備計画

(1) ハーネス研修センター(ドームハウス)の改修

- ・各部屋のエアコン(3台)交換 465,850円
- ・浴室暖房機設置 173,565円
- ・ハウスクリーニング 65,000円(前期に支出済み)

(2) 厨房備品の買い替え(流し台・ガスコンロ・給湯器)

公益信託東京日本橋ライオンズクラブ立川福祉基金(350,000円)の助成を受け、買い替
えを実施した。

総額 497,700円(厨房設備入れ替え397,950円、給湯器交換99,750円)

(3) 受電設備更新工事(1,543,500円)

設備の老朽化のため、2012年度第2回定期理事会(2012年11月10日)において
工事実施の承認を受け、実施した。

(4) 慰霊碑改修移設工事(1,971,375円)

寄付者の意向により、2012年度第2回理事会(2012年11月10日)において、工
事実施の承認を受け、実施した。

4. 犬舎建替え資金の当期積立予定額

計画どおり建物取得資金積立金(5,000,000円)を積み立てた。

5. その他

(1) 職員について

		正職員数	パートタイマー	資格取得年数
管理部門	管理・事務職	3	2	
事業部門	盲導犬歩行指導員	3		1999年1名、2002年2名 ※上記3名は盲導犬訓練士の有資格者
	盲導犬訓練士	4		2009年1名、2011年1名 2012年2名
	訓練担当者		1	2013年4月訓練士資格取得予定
	パピー担当者	2		
	繁殖担当者	1		
	犬舎管理担当者	1	1	
	普及啓発	2		
計		16	4	

(2) 訓練士等のキャリアアップの状況

訓練犬の訓練頭数ならびに視覚障がい者の歩行指導回数等、日本盲人社会福祉施設協議会の自立支援部会盲導犬委員会ならびに認定NPO法人全国盲導犬施設連合会の策定した基準に則り、訓練士ならびに歩行指導員を養成。その他に、国際盲導犬連盟、アジアブリーディングネットワーク、視覚障害リハビリテーション協会等の主催するセミナーや会合などに積極的に参加して、訓練技術や視覚障害に関する知識のキャリアアップを実施。

(3) 訓練について

犬のステージ	期間 (犬年齢)	訓練のステージ	担当職員	内容
子犬	生後60日～ 1歳	パピーウォーキング	パピー担当	パピーウォーカー（子犬飼養ボランティア）宅での基本的な躰や生活
訓練犬	1歳～ 約2歳	候補犬の訓練	訓練士 歩行指導員 犬舎管理担当者	直線歩行・障害物回避・段差発見・公共交通機関の利用・ステイ（待つこと）・生活訓練（食餌・排泄等）
	約2歳	共同訓練 (2週間～4週間)	歩行指導員	視覚障がい者と訓練犬との歩行訓練ならびに生活訓練
盲導犬	2歳～ 10歳	フォローアップ	歩行指導員	盲導犬ユーザーが安全な歩行かつ快適な生活を継続するために、盲導犬貸与後最低年1回のフォローアップを実施

(4) 施設について

①施設の場所

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

②敷地面積

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2 (5,715.71㎡)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-3 (2,486㎡)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-4 (393㎡)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷24-2 (105.98㎡)

③建物

a. 訓練センター棟 (鉄筋コンクリート2階建て) 826㎡

事務所・厨房・食堂・ホール・宿泊室(7室)・犬用医務室・犬舎

b. 新犬舎 (鉄骨平屋建て) 犬室4室 94.60㎡

c. ハーネス研修センター (木造2階建て) 宿泊室3室 厨房・食堂 122.84㎡